

経営情報学部 2022年度「実務経験のある教員等による授業科目」一覧

教員区分	教員氏名	科目名	単位数	実務経験の内容等
専任	金 美徳	アジア経済論Ⅰ	2	株式会社三井物産戦略研究所にて北東アジア地域を担当・統括し、世界潮流の把握、同地域の政治経済動向とビジネストレンドの分析、地政学リスクの助言、アジア戦略の提案などを行った。具体的には、三井物産株式会社の経営幹部・各部署・各支店、二木会(三井グループ社長会)、関係省庁向けに資料・情報の提供やフリーフィングを行った。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
		韓国経済論	2	
	小林 英夫	キャリア・デザイン入門	2	日本IBM株式会社でSEおよびソリューション営業に従事後、イー・アクセス株式会社(現ソフトバンク)の創業に参画。主に組織管理や経営企画を担い東証2部上場へ貢献、代表取締役副社長を務める。子会社としてイー・モバイル株式会社(現ソフトバンク・ワイモバイル事業)の創業も手掛け、経営戦略本部長・情報システム本部長、副社長を歴任。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
		経営組織	2	
		ベンチャー企業論	2	
	新西 誠人	経営科学	2	日本電信電話株式会社で非接触ICカードの研究に従事。その後、株式会社リコーにおいて、人間中心設計を活用した会議システムやAI・IoTを応用した物流支援システムの研究開発、国内外の組織の技術企画を担当。社内シンクタンクで技術調査と経営層への提案を行う。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
		デザイン思考	2	
	千ヶ崎 清孝	IT概論Ⅰ	2	三井情報株式会社にて、システムの開発、運用保守、品質管理とコンプライアンス活動、ネットワークセキュリティやモデルウェアの導入コンサルティング、ソリューションへのAI適用の調査企画まで幅広く担当。海外ベンダとの交渉含め、グローバル感覚をもって業務遂行してきた。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
		IT概論Ⅱ	2	
	内藤 旭恵	経営とセキュリティ	2	NECエンジニアリング株式会社に在籍。放送映像システムのソフトウェア開発に携わり、主に、株式会社ベイエフエム、株式会社TBSラジオ、日本テレビ放送網株式会社などの企業を担当した後、人工衛星の筐体設計を行い、主に、宇宙航空研究開発機構(JAXA)やNEC東芝スペースシステム株式会社と開発協力。その後、携帯電話向け基地局のハードウェア設計を行った。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
		情報ネットワーク	2	
		ブランドマネジメント	2	
	長島 剛	事業デザイン論Ⅱ	2	多摩信用金庫の価値創造事業部や地域連携支援部で、多摩市・多摩信用金庫・多摩大学の三者による「多摩市創業支援事業連携協定」締結をはじめ、地域の自治体や大学・高专等との連携や地元企業やNPO等のマッチングに多数関わる。多摩ブルー・グリーン賞、ブルームセンター、課題解決プラットフォームTAMA、創業支援センターTAMA等開設。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
		地域金融論	2	
	中庭 光彦	地域観光論	2	日本コンベンションサービス株式会社でPCO(Professional Congress Organizer)となり国際航路会議、多摩学長国際会議等数々のMICEの企画・運営、自治体のMICE戦略策定業務に携わる。その後、株式会社プロジェクトブレンを創業し、企画担当役員・文化事業のプランナーとして活躍。1999年のミヅカン水の文化センター創立に当初から参画し、第11回(2010)日本水大賞厚生労働大臣賞を受賞。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
		地域政策プランニング	2	
		地域ビジネスプランニング	2	
	パートル	アジア経済論Ⅱ	2	株式会社三井物産戦略研究所国際情報部にて、親会社の株式会社三井物産の会長以下経営陣をはじめ、経営企画部、各商品本部(含国内・海外拠点)向けに、大中華圏におけるビジネス戦略の立案・企画と情報支援活動に参画。また、三井グループの関連企業の経営陣向けにも定期的に情報支援活動に従事した。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
		中国経済論	2	
	初見 康行	キャリア・デザインⅢ	2	株式会社リクルートHRマーケティング(現:リクルートジョブズ)において法人営業に従事。中小企業から大手企業に対し、広告媒体を使用した採用支援活動を行う。その後、自社の人事部に異動し、主に新卒採用の企画立案・実施に携わる。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
浜田 正幸	業界研究Ⅰ	2	本田技研工業株式会社、株式会社本田技術研究所にて自動車レースのF2プロジェクトのマネジメントチームに参画。その後株式会社野村総合研究所で経営コンサルタント。独立して株式会社ケアブレインズ創業。共同ファウンダー。株式会社ジェイ・フィール創業。取締役副社長。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。	
	消費心理	2		
松本 祐一	NPO・NGO論	2	株式会社シー・エンド・シーにて、国内食品・飲料メーカーの商品開発のための市場調査の企画、実査、分析等に従事。その後株式会社アイアンドディーにて、国内外のIT関連企業のマーケティング、特に顧客開発のための戦略立案・実行を担当。また、学生時代に国際NGO国境なき医師団日本事務局にて、学生NPOの立ち上げと運営を経験している。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。	
	事業デザイン論Ⅰ	2		

教員区分	教員氏名	科目名	単位数	実務経験の内容等
非常勤	青木 克彦	産業社会特講(企業を取り巻く環境の変化)	2	三菱商事株式会社、三菱UFJリース株式会社で、マネジメント、経理、財務、金融関連の業務を幅広く担当。特に、数多くの企業買収分野での経験豊富。米国駐在経験も含めグローバルなビジネスに永年携わっている。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
	岡田 豊	産業社会特講(ジャーナリズム論)	2	日経新聞、共同通信、テレビ朝日で記者として企業、省庁、永田町の取材や、デスク、コメンテーターなどを担当してきた。阪神淡路大震災、福島原発事故など災害報道も経験。テレビ朝日アメリカ総局長としてトランプ氏が勝利した大統領選取材した。グローバルな視点で日本の課題を直視。「現場主義」と「自分の頭で考えること」の重要性を説く。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
	荻阪 哲雄	産業社会特講(ビジョン・マネジメント論2022春)	2	警視庁、ベンチャー企業で勤務の後、組織風土改革プロフェッショナルファーム(株)スコラ・コンサルトの創業期に参画。同社パートナーを経て、独立。ビジョンを行動へ変える独自手法『バインディング・アプローチ』を考案・提唱して、株式会社 チェンジ・アーティストを設立。代表に就任。クライアントの組織開発参謀を務め、これまでに3万時間以上のコンサルティングを展開して、1万2000名のリーダーを支え、企業変革を支援している。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的な研究と教育を行っている。
	橋川 幸夫	産業社会特講(メディアの時代を生きる力)	2	1972年、音楽投稿雑誌「ロッキングオン」創刊、編集室長。1978年、全面投稿雑誌「ポンプ」を創刊、編集長。その後、メディア開発、マーケティングリサーチ、企業コンサルティングなどを勤める。1997年、株式会社デジタルメディア研究所を創業。インターネット関連の業務、コンサルを行う。「暇つぶしの時代」(平凡社)「森を見る力」(晶文社)「参加型社会宣言」(メタ・プレーン)など著作多数。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
	久米 信行	ビジネスコミュニケーションⅡ	2	イマジニアでゲーム企画開発と営業、日興証券(現SMBC日興証券)でAI相続診断システム開発・研修担当を経て、家庭のTシャツメーカー久米繊維工業の三代目経営者(現在相談役)。いち早くICTを活用し、日経インターネットアワード、経済産業省「IT経営百選」東京商工会議所「勇気ある経営大賞」特別賞を受賞。APEC2010中小企業サミット日本代表。東京商工会議所墨田支部副会長、墨田区観光協合理事として観光地域づくりに邁進。墨田区文化振興財団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本舞台芸術振興会の評議員、日本吟剣詩舞振興会の理事として文化振興と国際交流に尽力。iU 情報経営イノベーション専門職大学 教授(起業支援と地方創生担当)。iU地域連携センターで地元墨田区の団体・企業との協働プロジェクトを推進する。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的な研究と教育を行っている。
	後藤 涼子	データベースⅠ	2	野村證券株式会社企業情報部を経て、ゼネラルビジネスサービス株式会社にて企業向けMS Office等各種アプリケーション、WEB制作研修等に携わる。その後ITインストラクター及びライターとして、講師活動を行うとともに、IT関連書籍の執筆多数。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
	中湊 晃	国際ビジネス論	2	三井物産(株)で執行役員を務め、鉄鉱石、エネルギーなど国際資源ビジネスを担当、事業企画、M&A、トレーディングの経験豊富。海外勤務は豪州、英国、米国、インドネシアなど合計14年に及ぶ。鉄鉱石部長、エネルギー業務部長、米国三井物産上級副社長、インドネシア総代表、三井物産戦略研究所社長を歴任。三井グループのシンクタンクである三井業際研究所の運営委員及び研究主査、日本貿易会の運営委員会座長、経団連の東亜経済人会議日本委員、内閣府個人情報保護委員会専門委員等を務める。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
	真壁 昭夫	産業社会特講(行動経済学) 日本経済論	2 2	一橋大学商学部卒業、第一勧業銀行(現みずほ銀行)入行。ロンドン大学大学院修士。ロンドン証券現地法人勤務、市場営業部次長、みずほ総合研究所首席研究員等で金融市場での業務や経済調査等に携わる。信州大学経済学部、法政大学政策創造研究科教授を歴任。旭化成株式会社社外監査役、商工会議所政策委員会学識委員、行動経済学会評議員等。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。
結城 隆	産業社会特講(脅威と共栄の中国～変るビジネス環境)	2	金融、製造、流通業で40年にわたって海外での事業展開に関わる調査・企画および企業買収を含む新規事業立ち上げやアドヴァイザリー業務を経験。ロンドン、パリ、ニューヨーク、北京に都合16年在住。特に中国との関わりは20年に及ぶ。上述した実務経験を担当科目において十分に活かしつつ、実践的教育を行っている。	
合計:学部等共通科目			68	